

権現塚古墳（みやま市）

墳丘裾の石柱に「瀬高町指定文化財 権現塚古墳」とある



東側から墳丘を見たところ

 [video](#)



説明板/現在はみやま市指定史跡となっている/二段築成の円墳/周溝が巡る/主体部は単葬の構造と想定される/周辺には縄文時代～弥生時代の遺構があり、縄文時代～古墳時代の集落遺跡も存在したようだ/5世紀頃の築造とされる

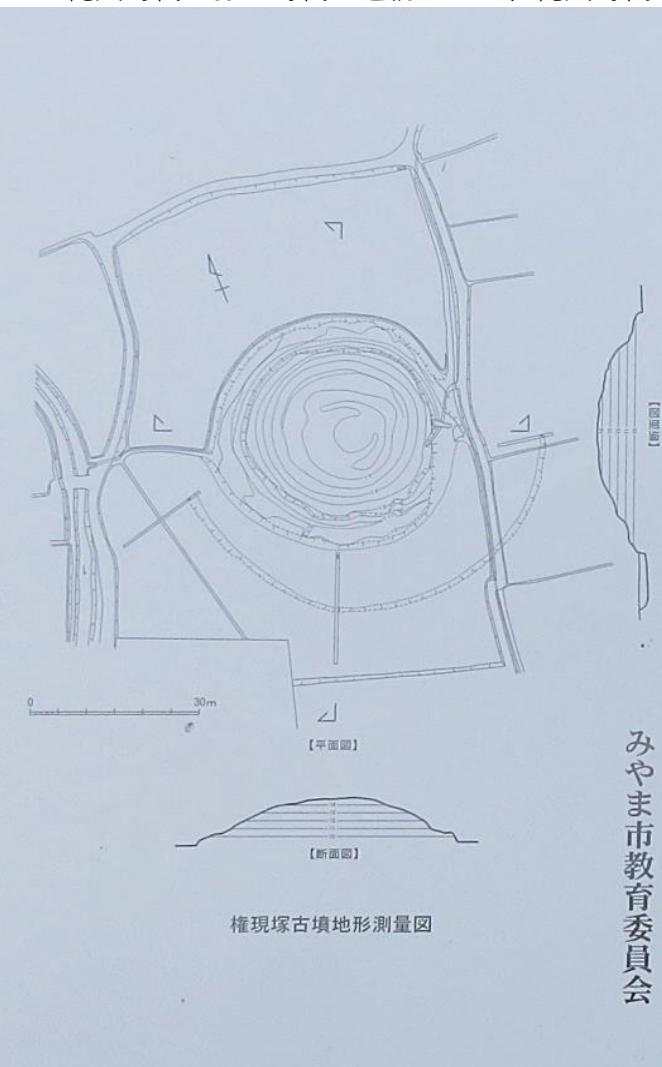
市指定史跡 権現塚古墳

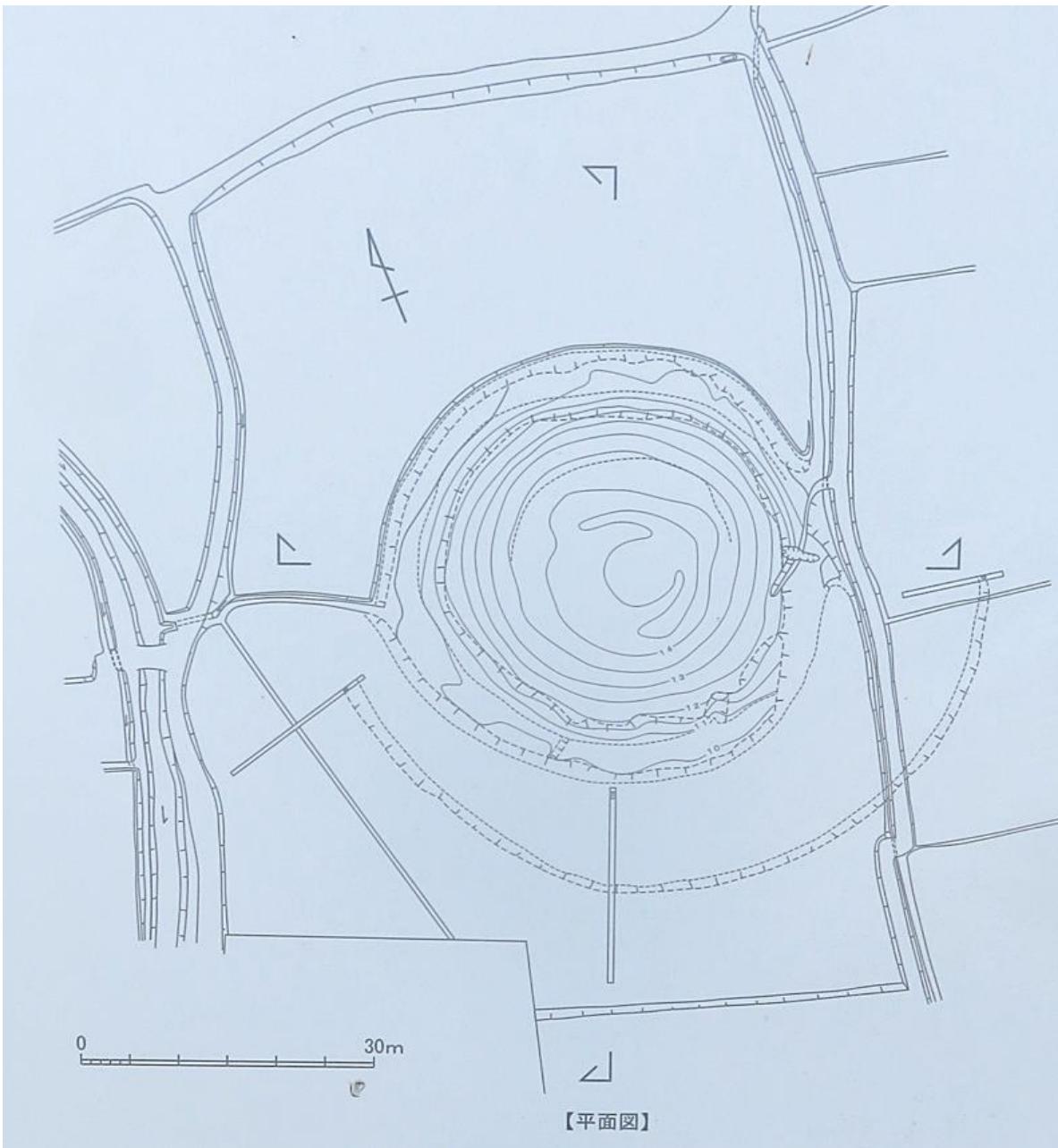
指定 昭和五十六年二月二十三日
所在 みやま市瀬高町坂田五三五

この古墳は、平坦な微高地を利用して築かれた二段築成の円墳です。高さ五・七メートルで、直径は四十五メートル、周囲に幅十一メートル・深さ一・二メートルの溝が廻る、県内でも屈指の円墳です。残念ながら、古墳の主要遺構は確認されていませんが、単葬の構造であつたと想定されます。周辺で調査された遺跡として、縄文時代晩期（約三千年前頃）の竪穴式住居跡（二軒）・埋葬（十一基）・弥生時代（約二千年前頃）甕棺墓（四十四基）・箱式石棺墓（二基）・土こう墓や祭祀遺構があり、古墳の周辺にある微高地一帯には縄文時代晩期から古墳時代にかけて集落が形成されていたことがわかります。この古墳は古墳時代中期（五世紀頃）に築造されたものと推定されています。

平成二十四年三月

みやま市教育委員会





北側から墳丘を見たところ

 [video](#)



それでは墳丘に登ってみよう！

 [video](#)



左下に説明板が立っているのが見える



少し退いて、北側から墳丘を見たところ



なお、この古墳が卑弥呼の墓ではないか、あるいは神功皇后に関係する古墳との説があるようだが、時代が合わない

